

# JP037 岩木川河口・十三湖 (いわきがわかこう・じゅうさんこ)

青森県：つがる市、五所川原市、中泊町

位置	N 41° 01' E 140° 22'
面積	2,727ha

## 環境構成【潟湖／干潟】

白神山地を源とする岩木川は、津軽平野を南から北へ100km、広大なヨシ原、水田、りんご園といった農地や市街地内を流れ、日本海に出る。岩木川下流部のヨシ原は、毎年火入れがある。汽水湖の十三湖はヤマトシジミの産地。



写真：松原一男

## 選定理由

A1	オオセッカ
A3	オオセッカ・コジュリン

## 保護指定

サイトの全域（90%以上）に法的な担保がある

<保護指定の内容>

国定公園（津軽国定公園）、自然環境保全地域

## 保全への脅威

- ・十三湖南部の水田地帯に大規模な風力発電施設が建設中である。水田で採餌、休息するガン類・ハクチョウ類への悪影響や越冬する大型猛禽類（特にオジロワシ）への悪影響が懸念される。
- ・岩木川河川敷のヨシ原では、ヨシの刈り取りや火入れが少なくなり、樹林化が進んでいる。この植生変化によるオオセッカやコジュリンへの悪影響が懸念される。

## 鳥類の個体数、生息環境の現状

- ・IBA サイトにおける重要な鳥類（IBA 選定基準種）の個体数の変化  
変わらない
- ・IBA 基準種の個体数のカウント調査実施の有無：有  
<調査データの入手方法>

日本野鳥の会弘前支部・弘前大学農学生命科学部

- ・ IBA 選定基準種の個体数に影響するような、IBA サイト内の重要な生息環境の変化：  
変化はない
- ・ IBA 選定基準種の生息環境：  
良好（全域、もしくは 90%以上が最適の状態）
- ・ IBA エリアの保全管理計画の有無：無

### 保全活動

- ・ モニタリング調査：実施者（日本野鳥の会弘前支部・弘前大学農学生命科学部）  
内容：オオセッカ個体数調査
- ・ 環境教育活動：実施者（日本野鳥の会弘前支部）  
内容：探鳥会

### IBA サイトの保全に関する地域のグループ

- ・ 日本野鳥の会弘前支部

### 見られる鳥

晩冬～早春	オオワシ、オジロワシ、ハイロチュウヒ、コミミズク、マガン、ヒシクイ、スズガモ、マガモ、オナガガモ、カルガモ、ユリカモメ、カモメ、ウミネコ、コハクチョウ、オオハクチョウなど
夏鳥	チュウヒ、ミサゴ、ノスリ、チョウゲンボウ、アオサギ、オオセッカ、コジュリン、オオジュリン、ホオアカ、コヨシキリ、オオヨシキリ、ケリ、カンムリカイツブリなど
秋～冬	アオサギ、ダイサギ、オオセグロカモメ、セグロカモメ、シロカモメ、カモメ、ウミアイサ、カワアイサ、キンクロハジロ、スズガモ、オオハクチョウ、マガモ、カルガモ、コガモ、ホシハジロなど

### 関連団体・自治体・施設等

- ・ 日本野鳥の会弘前支部



Sources: Esri, HERE, DeLorme, TomTom, Intermap, Increment P Corp., GEBCO, USGS, FAO, NPS, NRCAN, GeBCo, IGN, Kadaster NL, Ordnance Survey, Esri Japan, METI, Esri China (Hong Kong), swisstopo, MapmyIndia, © OpenStreetMap contributors, and the GIS User Community